

## 農村整備係 業務

農村整備係では、農道整備、ため池整備、農用地開発などを行っています。

以下では実施中の事業を紹介します。

### 【住みよい農村づくり】

#### 1 農業の活力維持と安心安全の確保のための農道施設(橋梁)の耐震対策

##### <現状と課題>

・恵那管内では中山間地域の特性を活かした広域的な農業が展開されており、効率的な農産物輸送を図るための基幹的農道の整備が進められてきました。しかし、完成から約40年経過し、耐震性の低い橋梁や老朽化による損傷が見られる橋梁が存在しています。

##### <対策>

・県の緊急輸送ネットワークに関連する10橋から優先的に耐震対策を実施しています。

(平成29年末時点で3橋が実施済)

##### (1) 県営農道施設強化対策事業 落合地区 (平成27年～平成29年)

##### <内容>

・橋梁耐震対策(落橋防止装置の設置、橋脚補強工)や橋梁補修工(舗装打換工など)を実施します。

##### <効果>

・農産物輸送の効果はもとより、馬籠宿のアクセス道路として利用されており地域活性化や暮らしの安心安全の確保を図ることができます、



・緩衝チェーンの設置により地震時の落橋を防止します。

## 2 安心安全な地域づくりのための農業用ため池の防災・減災対策

### <現状と課題>

・恵那管内には 1,346 箇所<sup>1</sup>の農業用ため池があり、営農に必要な農業用水の確保や洪水調節機能による防災機能など大きな役割を果たしています。近年、大規模地震や豪雨等により多くのため池が被災し、他県では決壊等により農地だけでなく、下流域の住民や家屋等にも被害が発生しています。

### <対策>

・ため池の耐震調査により早急に対策が必要と判断されるため池について、計画的なため池整備を進めています。

### (1) 県営ため池等整備事業 恵那地区(平成 25～29 年) ほか6地区

#### <内容>

・ため池 6 箇所<sup>2</sup>で改修済み、2 箇所<sup>3</sup>で廃止工事、防災ダム 2 箇所<sup>4</sup>で観測機器更新を実施しました。  
・平成 30 年度は 5 地区(中津川 1 期、中津川 2 期、恵那 2 期、蔵王田、槇ヶ根・山田)で実施しています。ため池改修に合わせて下流水路の断面不足を解消するため、水路の整備も行っています。

#### <効果>

・下流域の農地や農業用施設、公共施設等の被害リスクの軽減が図られます。



中津川 2 期地区 上之平 2 号ため池 (中津川市福岡地内) 平成 29 年度完了



恵那地区 上金ため池 (中津川市中津川地内) 平成 29 年度完了

・利用されないため池について廃止工事を実施することで、下流域の安心安全を図ります。

### 3 中山間地域の持続的な発展を図るための基盤整備事業

#### <現状と課題>

・中山間地域における過疎化・高齢化の進行に伴い、営農意欲の減退や農業の担い手不足が深刻化しており、耕作放棄地の増加による農村の荒廃が懸念されています。

#### <対策>

・安定的な営農を維持するため、地域の状況に即したきめ細やかな基盤整備を実施しています。

#### (1) 県営中山間地域総合整備事業 恵那北部地区（平成 24 年～平成 30 年）

##### <内容>

- ・農用地造成 A=16.2ha を整備します。
- ・鳥獣防止柵および堆肥舎を設置します。

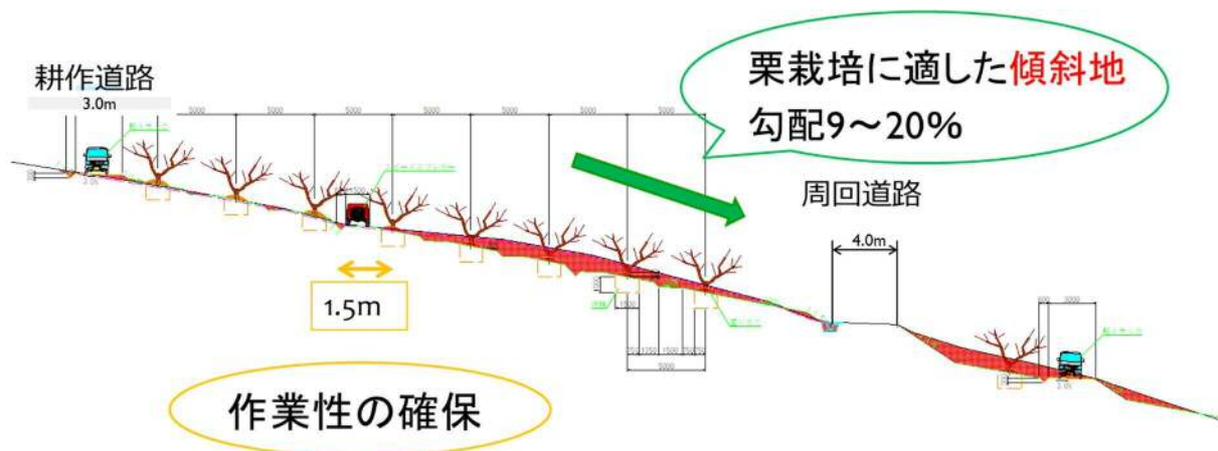
##### <効果>

・地域の特産品である「恵那栗」の生産量を増加させるため、農地開発により山林を栗園に整備し、関係者による「東美濃クリ地産地消(商)拡大プロジェクトチーム」によって観光農園としても活用されるなど、地域農業の振興に寄与しています。



恵那北部地区（恵那市中野方地内）平成 28 年 6 月撮影  
(株)えな笠置山栗園(<http://kasagiyama-kurien.jp/>)

※収穫祭等の情報は上記 URL より



・現地状況や作業性を考慮した栗園造成工事を行っています。